

旧東海道「箱根八里」を『街道観光』の聖地に

箱根八里街道観光推進協議会（事務局：三島市産業文化部商工観光課）

1. はじめに

江戸時代、東海道は日本の大動脈として江戸から京までを結んでいました。主要街道として本格的に整備されたのは今から約400年前、江戸に幕府を開いた徳川家康の治世下でした。

かつて多くの旅人が歩き文物や情報が行き交った東海道は今も人々の旅心を誘い、東海道を歩く旅は街道歩きの中でも一番の人気旅となっています。

標高約10mの小田原宿から標高846mの箱根峠を登り、標高約25mの三島宿までの峠道は、「箱根の山は天下の険」と歌にも唄われたように、東海道第一の難所といわれました。箱根峠を含む箱根山は、小田原の酒匂川（さかわがわ）と並び、幕藩政治の中心地である江戸防衛の要地とされており、険しい峠越えの山道には当初滑り止めのために竹が敷かれていましたが、延宝8年（1680）に二間幅（約3.6m）で石が敷き詰められて以降、石敷きの道となりました。



東海道の内、起点の日本橋から数えて9番目の宿場町・小田原宿から10番目の箱根宿、さらに箱根峠を越えて11番目の三島宿までの間およそ32キロ（八里）は、距離にちなんで「箱根八里」として、小田

原・箱根側は東坂と呼ばれ、三島側は西坂と呼ばれました。

当時の街道には、距離の目安となる一里塚が道の両側に築かれていましたが、三島側の西坂にも、山中、笹塚、錦田の3ヵ所に一里塚が築かれ現存しています。このうち、錦田一里塚は、大正11年に国史跡に指定されており、平成16年には、西坂・東坂の約5キロが国史跡に追加指定をされました。



旧街道石畳（箱根町）



旧街道石畳（三島市）



畑宿一里塚（箱根町）



錦田一里塚（三島市）

徳川幕府が開かれた当初は箱根宿はなく、難路に苦勞した参勤交代の大名たちの要請により小田原宿から50軒、三島宿から50軒が移されて新たに宿場町が作られたとされます。箱根町には、今も小田原町、三島町の地名が残り、平成30年に箱根宿開設から400年目を迎えたところです。

2. 箱根八里街道観光推進協議会の発足

「箱根八里」沿線の2市2町の内、小田原市（神奈川県）は、戦国時代に後北条氏の城下町として発展。江戸時代には東海道屈指の宿場町として栄えた神奈川県西地域の中心都市です。

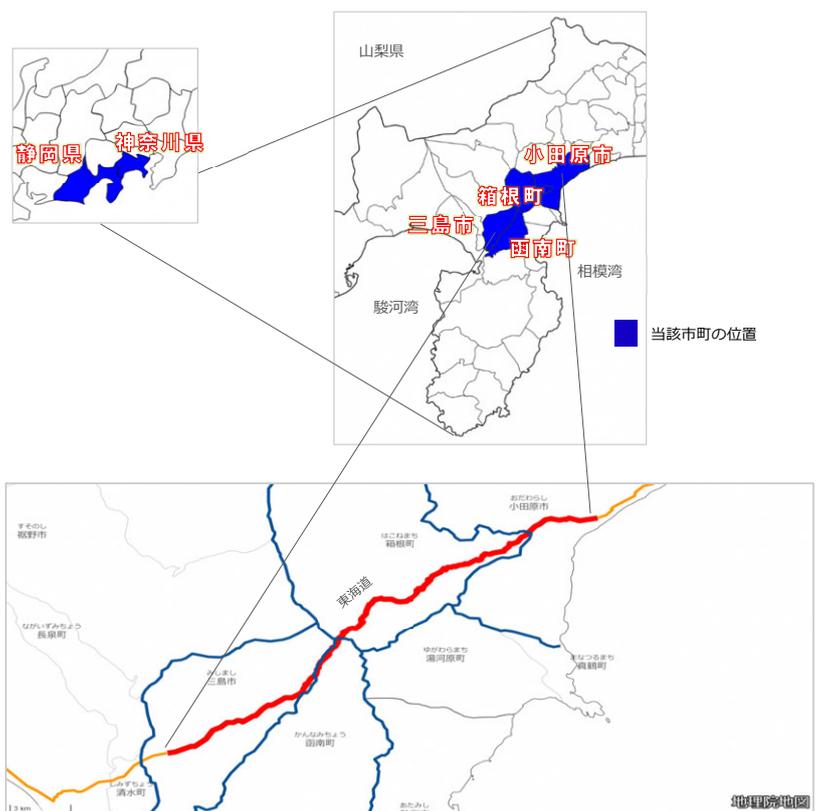
箱根町（神奈川県）は杉並木や箱根関所で知られ、古くから温泉場、門前町として栄えた歴史を有し日本を代表する観光地となっています。

三島市、函南町（静岡県）は、箱根西麓（箱根山の西側地域）の豊かな自然と世界文化遺産「富士山」からの湧水に恵まれ、都心へも1時間圏内と利便性が高く、伊豆の中心地域として成長を続けてきました。

4市町のエリア全体の人口は約35万人、総面積は約334km²で、富士箱根伊豆国立公園の中心にあって、国内外から年間約3,000万人を超える観光客が訪れています。

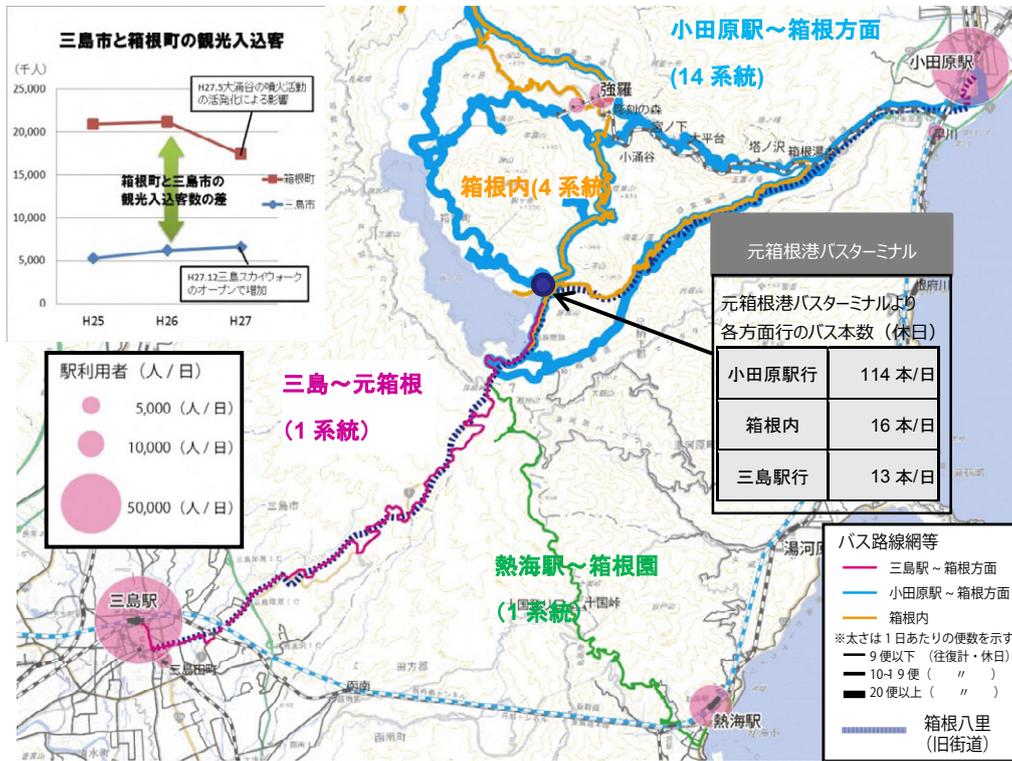
平成28年9月には、旧東海道「箱根八里」の新たな魅力づくりと観光振興による地域活性化を目標に「箱根八里街道観光推進協議会」（会長：豊岡武士三島市長）を設立。「箱根八里」沿線は、歴史文化や自然景観、伝統工芸から祭礼行事、グルメまで、豊富な観光コンテンツを有しており、現在4市町の官民が連携して「箱根八里」のブランド化に取り組んでいるところです。

市町村の位置図(地図等)



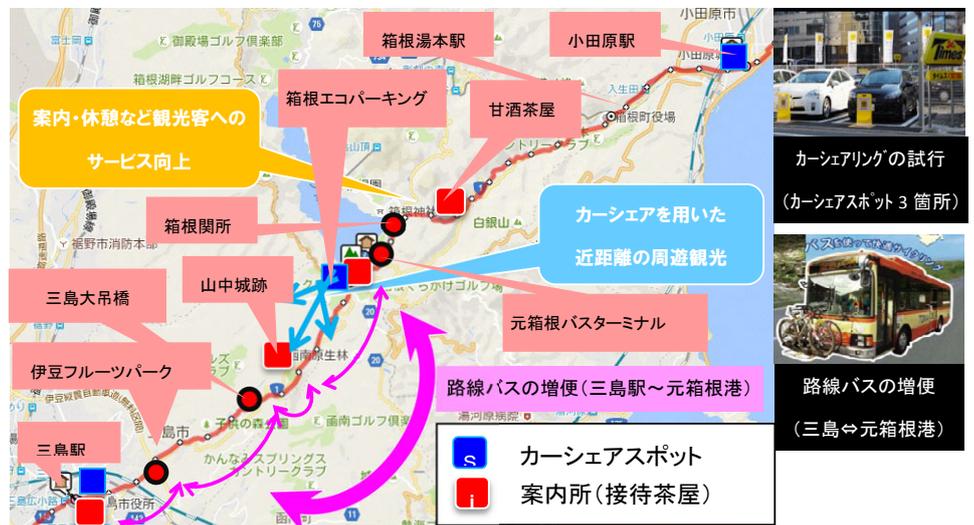
3. 「箱根八里」の課題と社会実験

「箱根八里」は、箱根峠を境に東坂と西坂に分かれていますが、両地域の観光入込客数には大きな格差があります。また、静岡県側と神奈川県側の公共交通の事業者が違うため、乗り継ぎなしで小田原側から箱根峠（県境）方面、あるいは三島市側から箱根・小田原方面へ向かう公共交通はなく、箱根・小田原エリアと比較して三島・函南エリアのバス路線の系統・便数は1/10で、これまで2次交通の強化が課題となっていました。



これらの課題の解決策を探り、「箱根八里」を観光活用していくための交通体系の強化を図る目的で、平成29年度国土交通省社会実験「旧東海道『箱根八里』街道資源の観光化に向けた交通体系強化社会実験」を申請・実施。社会実験では、「箱根八里」の街道歩きを支えるモダルコネクトの強化策として、乗り捨てを含むカーシェアの増強や路線バスの増便等により観光客の利便性の確保を図るとともに、街道沿いの集落との協働による受入拠点の試行として臨時的案内休憩所設置等を試行しました。

「箱根八里」の街道歩きを支える鉄道からのモダルコネクトの強化策の一つとして、三島駅におけるカーシェアリングサービスの増強と、箱根峠に近接する箱根エコパーキングへのワンウェイ（乗り捨て）対応の仮設カーシェアポイントの設置を行いました。カーシェア利用件数や走行履歴、アンケート結果からカーシェアのニーズは高

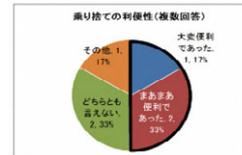
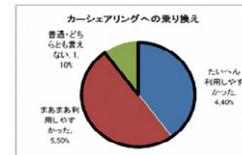
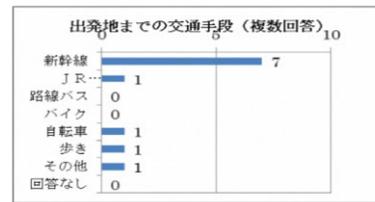


かったものの、ワンウェイについては乗り捨て後の街道歩きの経路がわかりにくいなどの課題がありました。

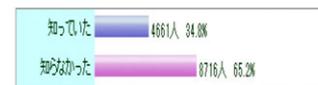
【カーシェア周遊行動の確認】



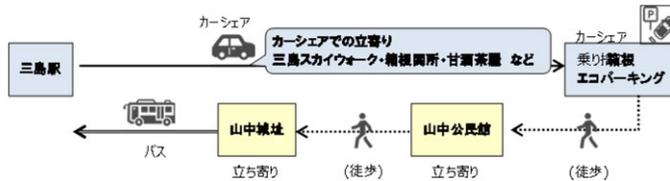
【カーシェア満足度調査】



「箱根八里」の認知度

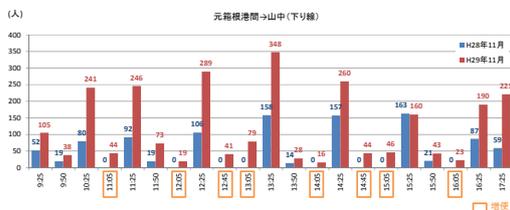


【ワンウェイ利用者の行動実績(例)】

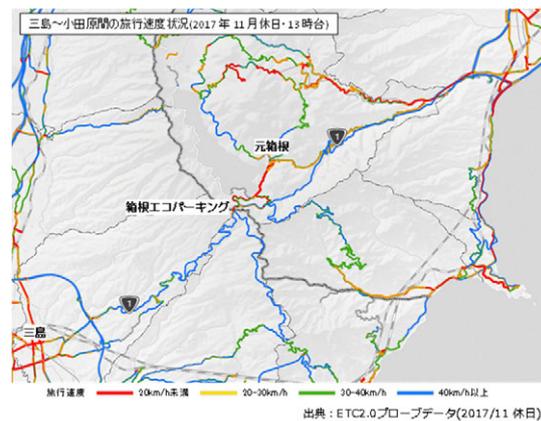


バスの増便による街道歩きと観光客利便性の確保として、三島駅（三島市）と元箱根港（箱根町）間の路線バスの運行本数の増便も試行。バス利用者の増加やアンケート結果から繁忙期のバス増便のニーズは高いものがありました。さらに三島～小田原間を乗り換えなしで利用できる直通便や「箱根八里」を一体的に利用できる交通系商品が利用者に望まれていることがわかりました。

【運行便別の乗車人数】



【三島～小田原間の速度状況】



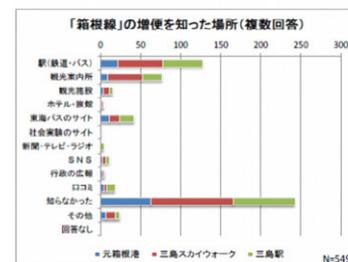
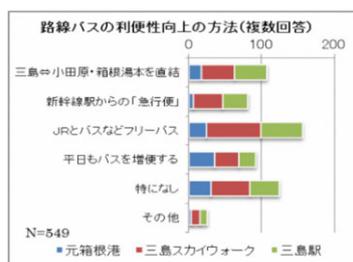
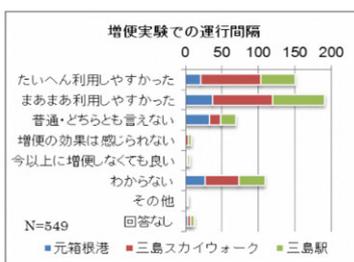
【乗り継ぎ時間短縮】

乗り継ぎ箇所(方向)	最大短縮時間
元箱根港(東京→西飯)	40分
元箱根港(西飯→東京)	7分
三島駅(新幹線→西飯)	45分
三島駅(新幹線下→西飯)	45分

【乗降者数前年比】



【バス利用者アンケート結果】



地域との協働による観光客の受入れ拠点設置の試行については、臨時の案内・休憩所の設置（地域との協働による観光客受入れ拠点整備）により街道歩きをサポートする仕組みづくりを試行し、多くの観光客が案内休憩所を利用され、設置効果は大きくさらなる施設の充実の必要性も高いものでありました。旧東海道『箱根八里』及び国道1号の道路空間を活用した賑わいづくりとして、おもてなしイベントや物品販売等を実施したところ、設置した山中城跡の11月の入込客対前年比112%、売上金額は対前年比140%となるなど、多くの方が訪れ利用者からも好評であったことから、定期的にイベントを実施するなど賑わいを創出することが必要なことが判明しました。



イベント案内チラシ



山中城跡のおもてなし



湯茶のサービス

このように、社会実験を通じて、「箱根八里」への来訪者の増加が見られたことや、案内休憩所の設置による地域活性化の効果等を確認したことから、継続的な交通体系の強化の仕組みづくりや住民主導の街道観光地域づくりについて検討しているところです。

4. 日本遺産「箱根八里」

文化庁では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックという訪日外国人旅行者増大の機会をとらえ、日本の有形無形の文化的資源をひとつのテーマ、ストーリーでとらえる「日本遺産」が平成27年から取り組まれています。

「日本遺産」は、文化財の活用とそれを通じた地域活性化が前面に打ち出されている点で、文化財の価値付けを行い保護することを主たる目的とする「世界遺産」と大きく異なるところです。

箱根八里街道観光推進協議会では、設立当初から「日本遺産」認定を目標のひとつに掲げており、平成29年度に申請書を提出。平成30年5月には、「旅人たちの足跡－箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路」のストーリーで「日本遺産」の認定を受けました。



小田原城（小田原市）



箱根関所（箱根町）



箱根旧街道（杉並木）（箱根町）

「箱根八里」の魅力は、小田原から三島に至る旧東海道沿いに江戸時代そのままの街道の有り様が残っていることと、同じ道中にありながらも深山幽谷の趣がある東坂と、富士を望む眺望が広がる西坂とで大きく風景が変わるところにあります。江戸時代の旅人にならい、ひととき苔むした石畳道を辿ると、宿場や茶屋、関所や並木、一里塚などが次々と目の前に現れてきて、往時そのままの「箱根八里」旅を追体験

することができます。

5. おわりに

日本ならではのさまざまな文化が、クールジャパンとして世界の注目を集めています。日本固有の文化は、参勤交代や寺社詣などで江戸時代の街道を通じた人や文物、情報の大交流によって大きく育まれました。なかでも、東海道は当時の国家幹線として膨大な交通量を誇り、歴史上の著名な人物が多数往来して日本全体に影響を及ぼす文化・経済の一大交流路となりました。

「箱根八里」には往時の歴史的景観や独自の文化・習俗が数多く残されています。今後それらをさらに観光活用することにより地域の継続的な発展を目指すことは、経済的効果だけでなく歴史的景観や史跡・文化財の保全・管理にもつながり、日本の街道文化の後世への継承という点でも日本遺産「箱根八里」の果たす役割は大きいものと考えています。